

平成24年度エイズ予防財団助成事業実績報告書

実施団体		特定非営利活動法人 魅惑的倶楽部
実施事業名		レッドリボンプロジェクト・2012
団体代表者		鈴木 恵子
事業の目的		近年の中高年齢の男性の感染数が増加している傾向を踏まえ、10年前より、公営競技場初の啓発活動として、浜松オートレース場でのキャンペーンを開催し、着実な啓発の効果を実感しているが、まだまだ継続の必要性を感じている。また、中高生など若者への啓発も保健所や学校ではなかなか入り込めない部分を持っている。そこで、行政区域を越え、かつコンドームの街頭配布など行政や教育機関では困難な活動を補い、HIV/エイズの予防を推進する。
事業の達成度		レース場場内各所に、ストップエイズなどのポスターを掲示し、また、レース場だけでなく、一般企業のお客様感謝デーイベント等で、コンドームやレッドリボングッズをプレゼントしてHIV/エイズに関心をもつ人を増やすことができた。別紙資料の通り、「レッドリボン」がエイズの差別偏見をしないという意思表示であることが多くの来場者に意識付けできた。
事業実績	対象となった人数	① 浜松オートレース場来場者、場外発売会場来場者のべ人数 約10万人 ② 一般市民（富士物産ファン感謝フェア来場者）約2万5千人・・・アンケート1000人
	具体的な活動内容	①「RUN for STOP AIDキャンペーン」10月から12月までの3ヶ月間、浜松オートレース場を中心に、オートレース選手会、来場者への予防啓発キャンペーンを実施した。11月10日～13日は、公益財団法人エイズ予防財団主催による「第8回レッドリボンカップ」を開催し、期間中、選手は、「STOP AIDS」の文字とレッドリボンをプリントした、レッドリボン勝負服を着てレースに臨んだ。 ・啓発冊子とコンドームを配布し、啓発専用ブースにて、保健師、看護師による血压測定及び健康相談を実施。 ・NPOの設置したブース内では、オートレース選手の募金活動や啓発活動への協力写真などを載せたパネル展示を開催し、コンドーム、啓発グッズを配布、募金活動実施。（選手から約10万円、来場者から約2万円） ・株式会社ロジックの協賛により、アイパッドを使ったアンケート調査を行い、エイズ予防啓発に関する意識調査を実施。 ・トークショーやミニライブのCS放送。10日（土）は、プロレスラー現在当NPO法人の理事でもある「神取忍さん」11日（日）は、浜松市唯一のプロフットサルチーム「アグレミーナ浜松」の「向島佑介選手」12日（月）は貴財団の「永井頼政氏」13日（火）は、平成24年度の静岡県人権啓発キャラクターの「Jam9」の3人。 ②9月14日、15日富士物産株式会社との協働。「お客様感謝フェア」にて、HIVエイズ予防啓発。チラシ、冊子、コンドームの配布。エイズアンケート（1000人）